

視点を変えてみたら、との思いで、生きものとのお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○ ⑮

2月下旬、河原の散策路に春が訪れていました。思わず写真を撮っていると、一緒に散策していた人から、その水色の花の名前は何かと聞かれましたので、「オオイヌノフグリです。」と答えると、その方はちょっと怪訝そうな表情をしていました。名前の由来を説明しようかなと思ったのですが、何となく躊躇してしまいました。その方はその言葉の意味をご存じだったのではないかなと思いました。子犬のそれは、カワイイと言えばカワイイですが……。それにしても、植物の名前には口に出して言いたくないような随分なものがありますよね。ママコノシリヌグイとかヘクソカズラとか。種名を決めるのは大変なことだとは思いますが、もう少し何とかしてほしかったなあなどと、思ってしまう。

セツブンソウとかキツネノボタンとか、けっこう素敵な名前もあるのですが。〈さんじゃく〉



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
 (NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
 代表：田村耕作／事務局長：小野 仁／
 編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子／会計：宮原俊彦
 〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
 ハイツ中村401
 自然案内舎(旬)クラブ内 TEL & FAX : 092-400-1765
 URL : <http://www.kurabird.com/>
 掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 70★

春日公園で、冬の終わりを、ゆっくりと観察します。

☆日時 3月19日 (日) 集合14時～解散16時

☆場所 春日公園・自然かんさつ館 (旧公園管理センター)
 会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作
 TEL 092-400-1765 [FAX兼用]
 Email kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

3/19 (日) 4/16 (日)
天拝山探鳥会 (筑紫野市)
時間：9:00~12:00
集合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026 (重松尚紀)

3/26 (日) 4/23 (日)
久末ダム探鳥会 (福岡町)
時間：9:00~12:00
集合：久末ダム多目的広場横
駐車場 (管理事務所下)
問合せ：0940-33-7846 (高原和幸)

4/2 (日)
今津探鳥会 (福岡市西区)
時間：9:00~12:00
集合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005 (神園道男)

4/8 (土)
大濠公園探鳥会 (福岡市中央区)
時間：9:00~12:00
集合：ポート乗り場前
092-573-1827 (森健児)

4/9 (日)
和白海岸探鳥会 (福岡市東区)
時間：9:00~12:00
集合：JR 和白駅前公園
問合せ：092-606-0012 (山本廣子)

4/4 (火)
県営春日公園 (春日市)
時間：10:00~12:00
集合：旧公園管理センター前
問合せ：090-8220-6160 (田村耕作)

日本野鳥の会 筑後支部 主催

福岡植物友の会 主催

3/26 (日)
膿施山公園内すいせん橋
時間：9:00~
集合：公園内体育館西側広場
090-7446-9047 (野田達行)

例会案内は、下記へ。
3/19 (日) 能古島
問合せ：092-662-2983 (佃昇)

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催 <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

4/1 (第1土曜日)
自然観察会 (植物・昆虫・野鳥など)
集合：九州歴史資料館駐車場
時間：9:30~12:30
問合せ：092-920-3072 (松永紀代子)
参加費：200円 (大人のみ)

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
[検索](#)
観察会や様々な生きもの情報を載せています



ナラミユフクレズイツシ 三国・松永



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子



カワモズクの間 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

3/25 (土)
守る会定例会議
時間：10:30~13:00
集合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012 (山本廣子)

3/25 (土)
クリーン作戦 と自然観察会
時間：15:00~17:00
集合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460 (田辺スミ子)

久留米の自然を守る会 主催

第433回例会 3/26 (日)
筑後川・春の野草を楽しむ会
雨天中止
時間：9:00~14:30
集合：久留米ふれあい農業公園
参加費：400円
定員：50名
持ち物：はし、皿、カップ、水筒
帽子、筆記用具
問合せ：090-1346-0460 (橋田沙弓)

2017年2月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、2月1日(旧暦1月5日)～2月28日(旧暦2月3日)までのデジカメ日誌です。



2月2日(旧暦1月6日) 福岡市西区瑞梅寺川河口
冬鳥としてこの辺りでは稀にやって来る、ヒシクイとマガン。母の故地の琵琶湖では毎冬、空いっぱいの子雁が観られた由。そういえば、近江八景に「堅田の落雁」がある。



2月18日(旧暦1月22日) 筑紫野市常松・宝満川
釣り糸が嘴に絡まった受難のコブハクチョウです。S氏からの情報で、探しに行くと、すぐに見つかった。時折動くが静かにしている。その後居なくなると聞いた。体長152cmの大型鳥である。飼い主に治療されていることを祈る。



2月26日(旧暦2月1日) 筑前町東小田・曾根田川
筑前町にコウノトリ飛来。存在感のある鳥である。兵庫県豊岡市から放鳥された内の2羽がつかいで居るようである。ここで繁殖できるでしょうか。見守りたいものです。



2月7日(旧暦1月11日) 筑紫野市天拝坂
この写真には「生きもの」が写っています。お分かりになりますか。コナラの樹幹をバックに上向きに立っている小枝状のもの。エダシャクの仲間であろう。クワエダシャクが「土瓶割り」とよばれるほど小枝に擬態しているのと同じだ。しかし、この10日ほどのち突然居なくなった。冬鳥に見つかったのか。



2月19日(旧暦1月23日) 筑紫野市武蔵天拝公園
トンボ池でカエルの卵塊3種が観られた。これは、ヒキガエルと思われるひも状の卵である。まだ寒いこの時期の産卵は卵を天敵から守るためか。

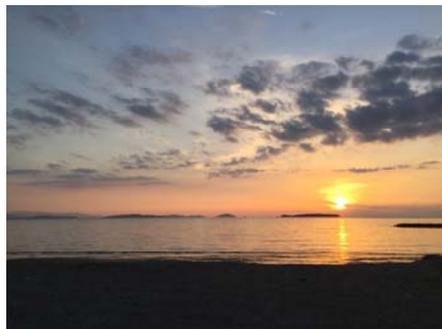
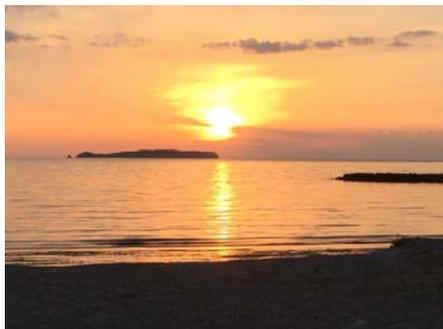


2月28日(旧暦2月3日) 福岡市中央区西中洲
薬院新川沿いの陽だまりの道があるしていると、ふと誰かに手招きされたようだった。だいぶ花芽が膨らんできたソメイヨシノである。この辺りは、幕末頃はまだ入江で正面に福岡の肥前掘の取水口が見えていただろう。

くすのき 2017年3月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

会員の投稿 洪田和美さんからの投稿

3月4日18時すぎ、津屋崎海岸の夕陽。目の前の島は相島。
宮地嶽神社の光の道が有名になって、忘れられつつある、海の中にできる光の道。
夕陽は毎日海に沈み、光の道は毎日どこかに出来るのです。
報告と撮影： 洪田和美



窓越しの自然観察 ⑪ ～ 春の兆し ～



ダム堰堤麓の梅林は、一月より咲き始めまだ、満開をほこっていますが、庭の白梅はヤッと二月末からボツボツ開き始めました。ダムを見下ろす山々は、冬から春へ、を知らせています。12月まで黄金色に輝いていたイチョウが谷あいには白じろと其の存在が変わりないことを見せてくれています。自然観察指導員講習会が夜須高原で開催されたとき、周辺の森や山々をスケッチすることから始まった記憶があります。針葉樹、広葉樹、落葉広葉樹・・・を樹形で描き分けられるかをテストされたように思います。

季節を追って、これからの変化を、お届け出来ればと思っています。(ダムサイト住人 2017/3/7 記)

自宅の周りで春を散策

3月初め、城南区田島を、メモ用紙とデジカメを持って歩きました。少し肌寒い朝でした。

クヌギやハゼの多い林は、明るく、落葉で覆われた中に明るい緑色の蔭を見かけました。もう茎が少し伸びていました。でも早春の風景でした。

溜池の在る茶山公園では、すぐ近くでジョウビタキに出遭いました。地面に降りては採餌、しばらくすると近くの枝に飛び移り、その後、再び地面に降りては採餌、を繰り返していました。旅立つ前のエネルギーを貯め込む姿も春を思わせますね。



ほとんど満開の桜(カワズザクラでしょうか)が1本あり、メジロは2羽が、盛んに花に嘴を入れていました。蜜を求めているのでしょうか。この時季、蜜を出す花は、ヤブツバキやサザンカ、早咲きのサクラの仲間でしょうか。ソメイヨシノの花芽はまだ固そうでした。

田島神社の境内に在るオガタマノキ、満開で、落ち始めた花びらも見かけました。
その気になって歩けば、いろいろ楽しいですね。 報告と撮影：田村 耕作



都市公園で自然観察会 69回 参加者3名

H29年2月19日(日) テーマ：公園の野鳥 報告：田村

感想 今、2月初めから珍しい旅鳥であるヤツガシラが、春日公園で観察できるかも知れないとの情報があり、野鳥を中心に観察しながら、散策しました。

ヤツガシラは体長26cm、頭に大きな冠羽を持ち、目立ちます。九州北部は、この鳥の分布域の東端に当たり、春に越冬地から繁殖地へ移動する頃に、時々広い草地のある環境で出会うことがある野鳥です。

調整池の草地では、シロハラやツグミが何かしら採餌していました。菖蒲池ではダイサギやカワセミが採餌中でした。アオサギは休息中で、全く動きませんでした。

この日は快晴で風も穏やかで、もう春と思うような天気でした。広い草地はたくさんの人たちが散策したり、遊んでいたりして、公園利用者が大変多く、ヤツガシラが草地でゆっくりと採餌する場所が無かったのかも。

薄い桃色のアセビの花が美しく目立っていた。

翌日、知人が撮影したヤツガシラの写真を掲載しました。盛んに採餌していたとのこと。



採餌しつつ回りを見るシロハラ



背伸びしていたツグミ



採餌中のカワセミ



採餌中のダイサギ



休息中のアオサギ



何かを見ていたスズメ



早春に花を咲かせ始めたアセビ



ヤツガシラ (2/20 鵜氏撮影)

